

図 8-1(G) 排尿 (尿意の有無) : 体重 (kg)

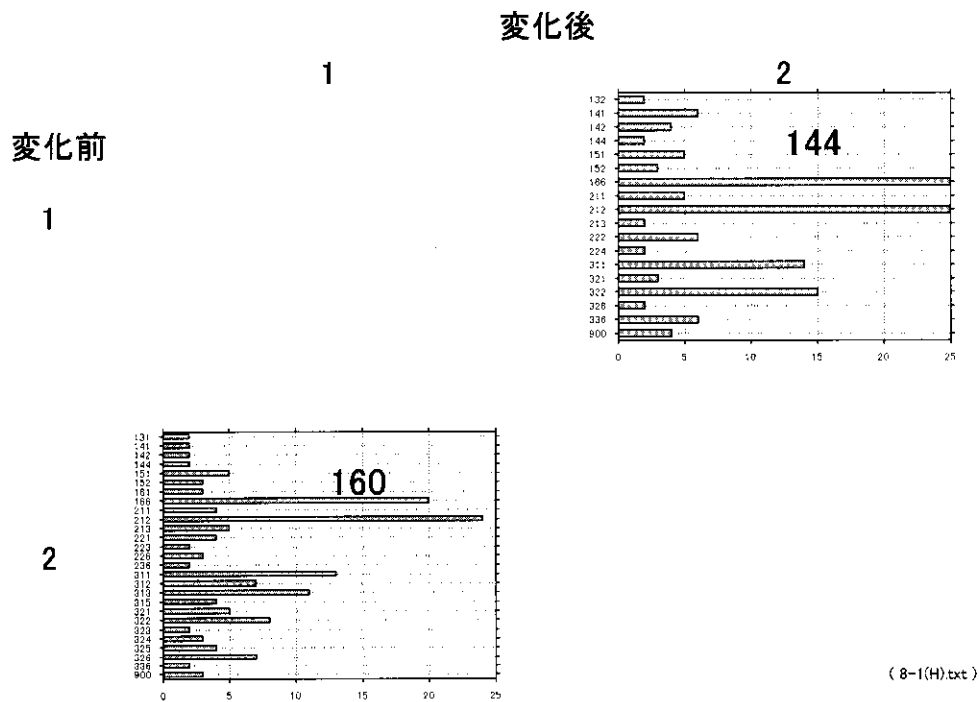


図 8-1(H) 排尿 (尿意の有無) : 主要病因

8.2. 排尿（排尿の知らせ）

■改訂版■

1	知らせない
2	事後に知らせることがある
3	事前に知らせることがある
4	いつも事後に知らせる
5	いつも事前に知らせる

<図 8-2 (A)～(H)>

全体：対象症例数 8584 の中で不変群 6417 名を除いた、2167 名（25.2%）に変化がみられた。改善は 1473 回，退行は 1776 回発生し，改善は退行に比べて少なかった（改善/退行：-17.1%）。また，改善と退行の和（3249 回）を変化を起こした症例数で除すると，変化が平均で 1.50 回発生したということになる。改善が多くみられた水準は，1 群→2 群（401 回，改善回数の 27.2%），1 群→3 群（314 回，21.3%），3 群→5 群（275 回，18.7%）であった。一方，退行に関しては，2 群→1 群（394 回，退行回数の 22.2%），3 群→1 群（394 回，22.2%），5 群→3 群（415 回，35.3%）の変化が多くみられた。

性別：特に性差はみられなかった。

年齢：改善のピークは，1 群→2 群で 33～35 歳，1 群→3 群で 33～35 歳，3 群→5 群で 27～29 歳であった。退行のピークは，2 群→1 群で 33～35 歳，3 群→1 群で 30～32 歳，5 群→1 群で 42～44 歳となった。排尿の知らせをみると 20 代後半から 30 代前半にかけて改善や退行がみられるが，40 代になると急速に退行する傾向がみられた。これは加齢による退行がはっきりする時期と考えられる。

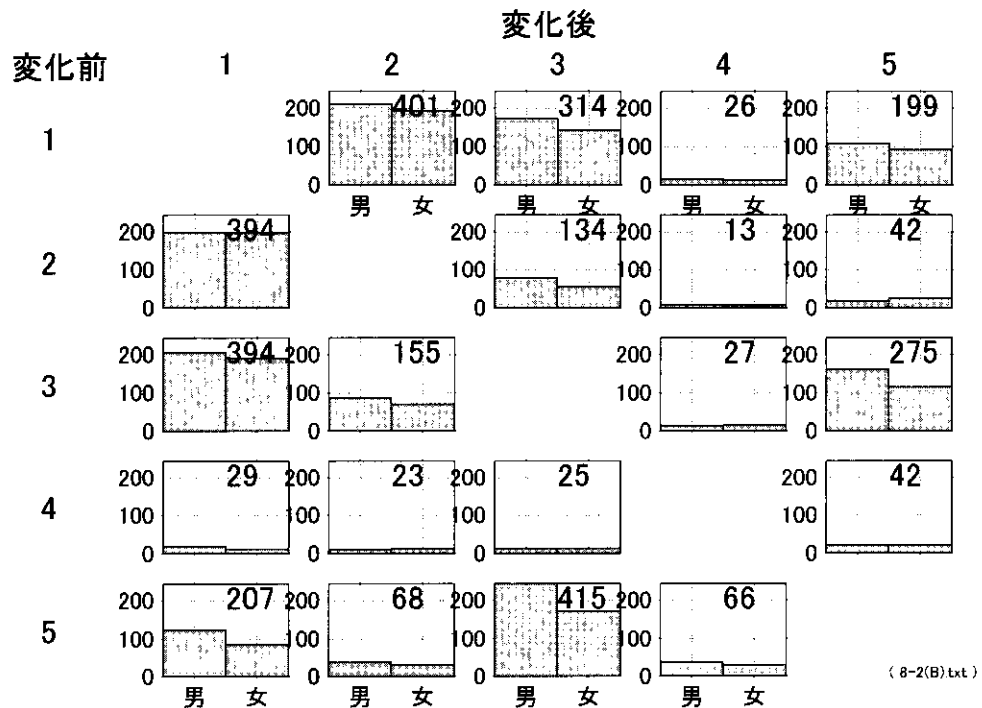
	変化後 1	2	3	4	5
変化前 1	5070 名	401 回	314 回	26 回	199 回
2	394 回	112 名	134 回	13 回	42 回
3	394 回	155 回	308 名	27 回	275 回
4	29 回	23 回	25 回	10 名	42 回
5	207 回	68 回	415 回	66 回	917 名

対象症例数 = 8584 名
 不変症例数 = 6417 名
 変化症例数 = 2167 名

改善変化回数 = 1473 回
 退行変化回数 = 1776 回

(8-2(A).txt)

図 8 - 2(A) 排尿 (排尿の知らせ) : 全体



(8-2(B).txt)

図 8 - 2(B) 排尿 (排尿の知らせ) : 性別

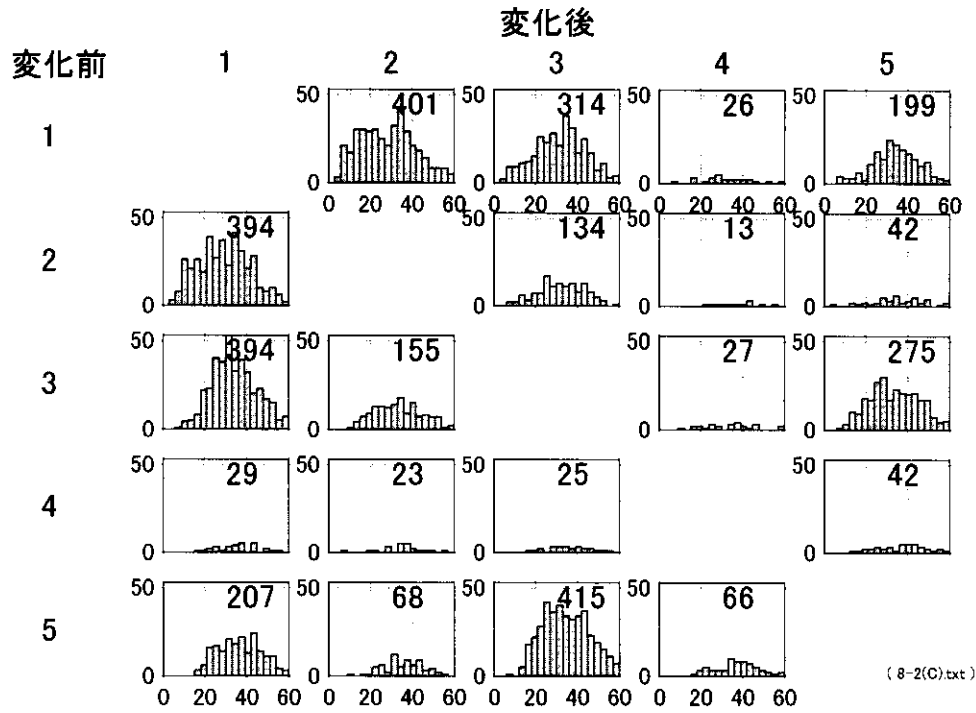


図 8 - 2(C) 排尿 (排尿の知らせ) : 年齢 (歳)

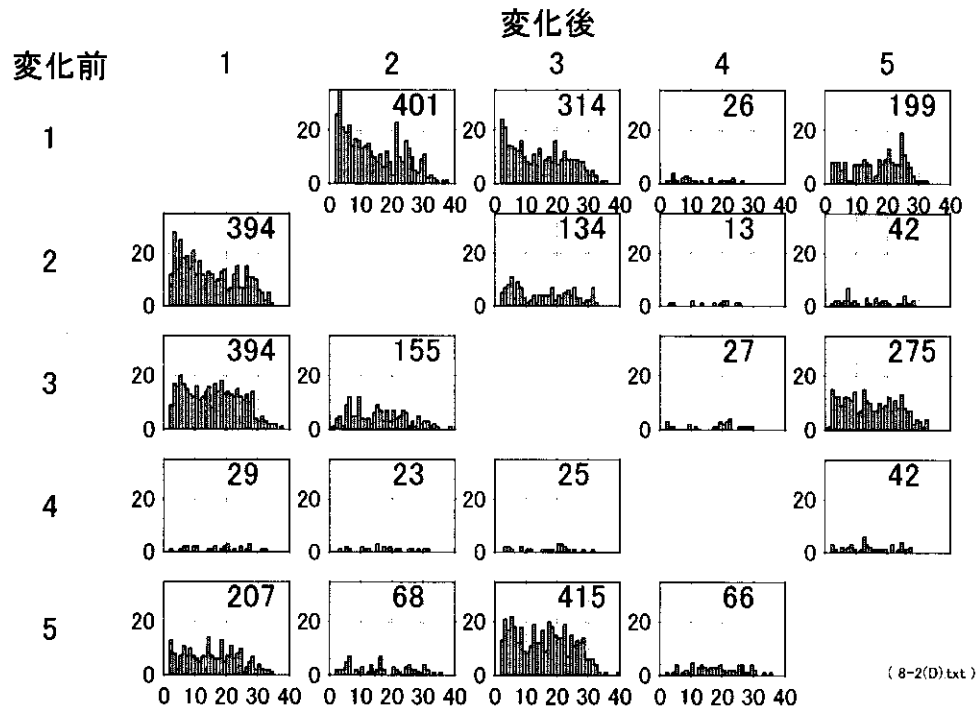


図 8 - 2(D) 排尿 (排尿の知らせ) : 変化発生までの入所期間 (年)

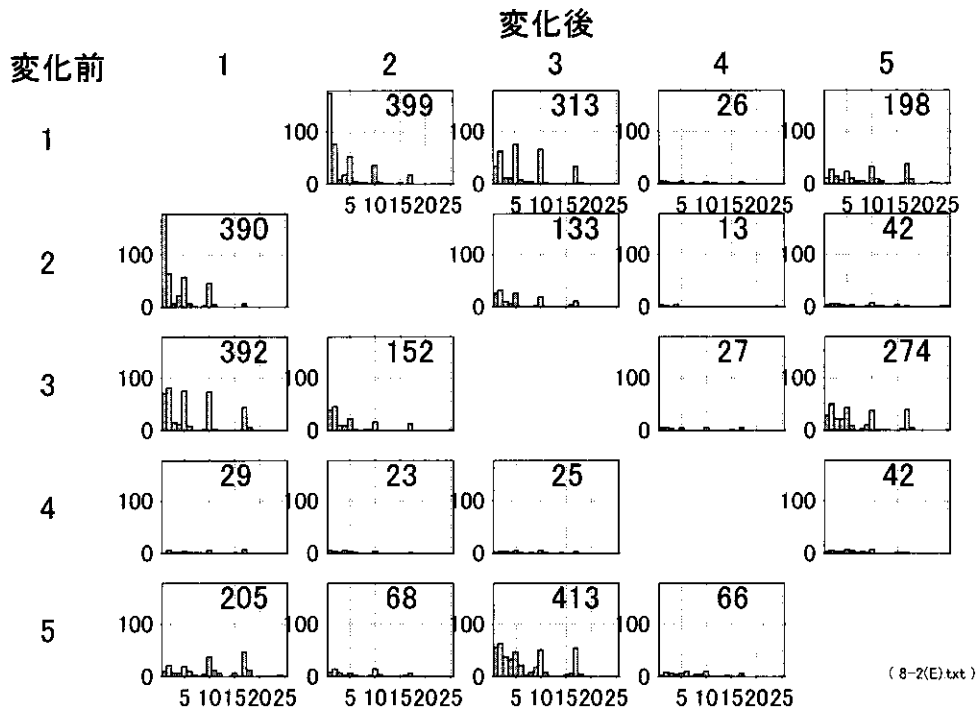


図 8-2(E) 排尿 (排尿の知らせ) : 大島の分類

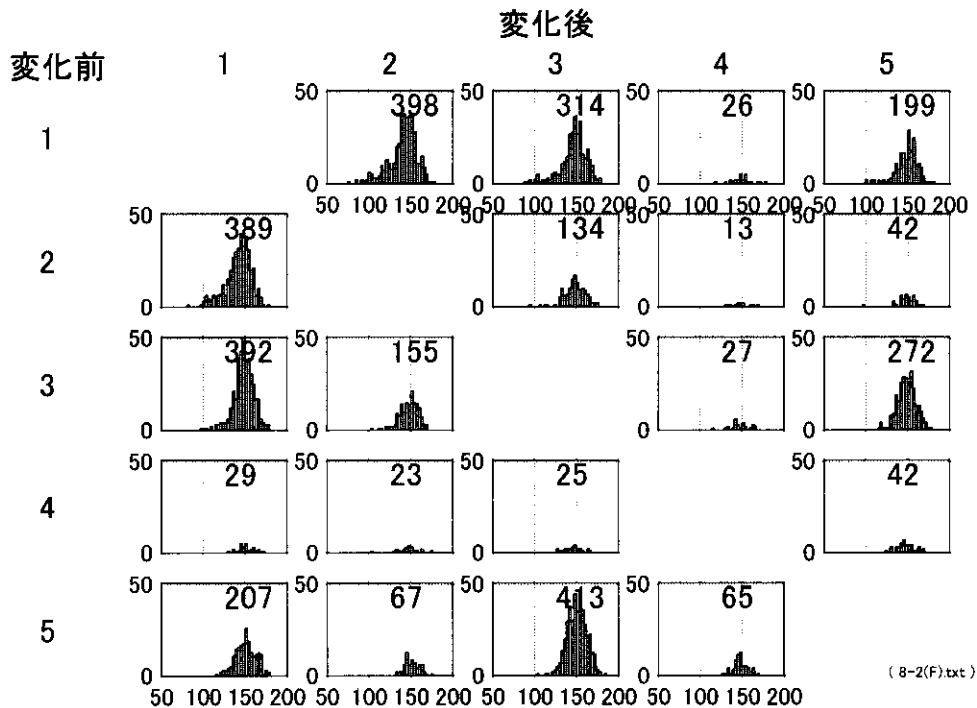


図 8-2(F) 排尿 (排尿の知らせ) : 身長 (cm)

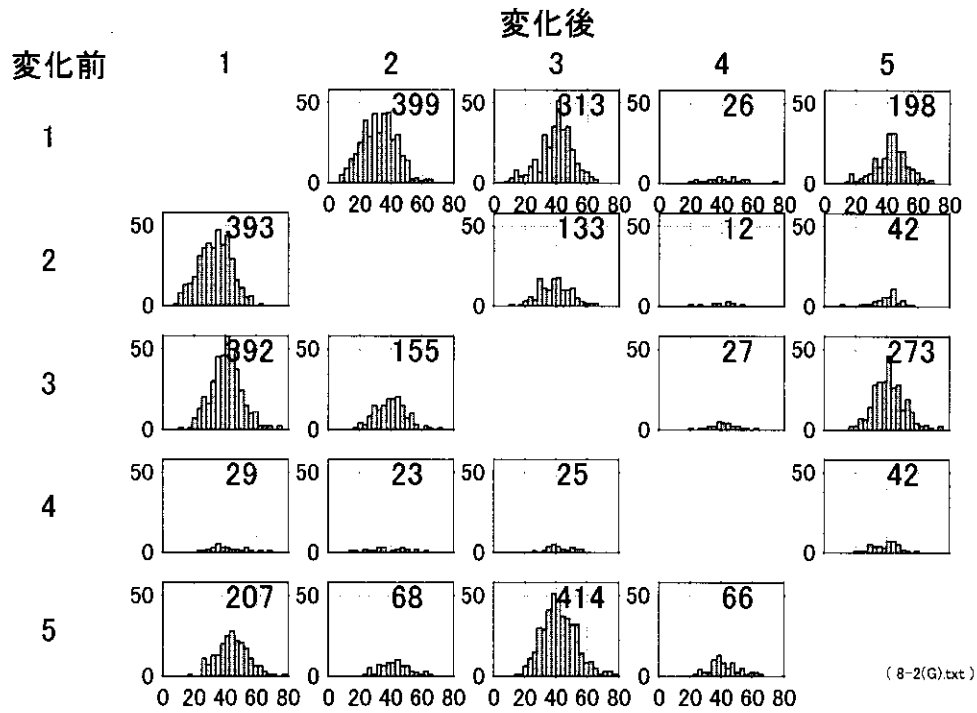


図 8-2(G) 排尿 (排尿の知らせ) : 体重 (kg)

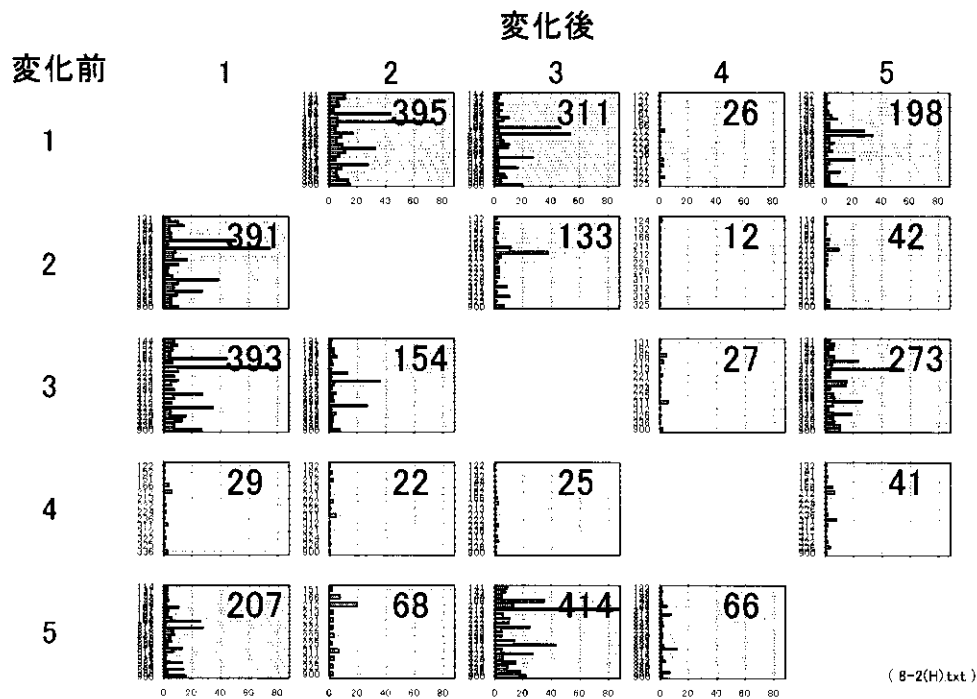


図 8-2(H) 排尿 (排尿の知らせ) : 主要病因

8.3. 排尿（排尿の介助）

■改訂版■

1	全介助
2	かなり介助が必要
3	必要に応じて介助
4	介助不要

<図 8-3 (A)～(H)>

全体：対象症例数 8586 の中で不変群 6217 名を除いた，1865 名（21.7%）に変化がみられた。改善は 1144 回，退行は 1622 回発生し，改善は退行に比べて少なかった（改善/退行：-29.5%）。また，改善と退行の和（2766 回）を変化を起こした症例数で除すると，変化が平均で 1.48 回発生したということになる。改善が多くみられた水準は，1 群→2 群（370 回，改善回数の 32.3%），2 群→3 群（280 回，24.5%），3 群→4 群（312 回，27.3%）であった。一方，退行に関しては，2 群→1 群（514 回，退行回数の 31.7%），3 群→2 群（326 回，20.1%），4 群→3 群（442 回，27.3%）の変化が多くみられた。

年齢：改善は 1 群→2 群が 33～35 歳，2 群→3 群が 33～35 歳，3 群→4 群は 42～44 歳であった。退行はのピークは，2 群→1 群が 24～26 歳，3 群→2 群が 36～38 歳，4 群→3 群が 36～38 歳であった。改善群では，介護度の高いものでは 33～35 歳頃をピークに改善がみられ，さらに 40 代前半にさらに介護度が低くなる可能性が示唆された。一方，退行群では，介護度の高いものは，20 代半ばをピークに退行するグループと，介護度の低いもので 30 代後半に退行するグループに分かれることが示された。

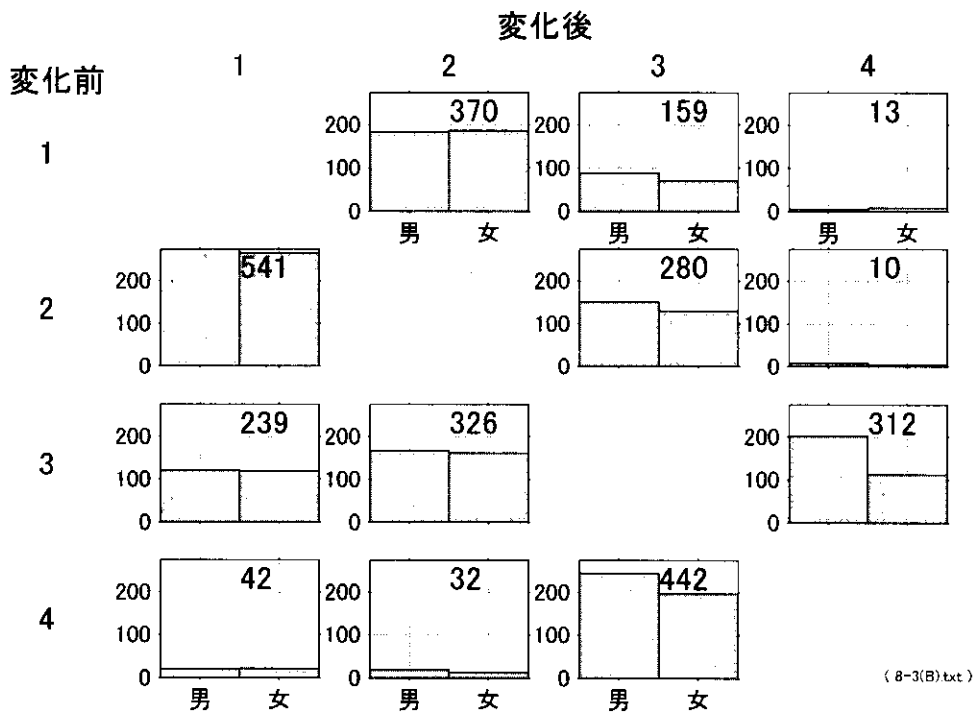
	変化後 1	2	3	4
変化前 1	5787 名	370 回	159 回	13 回
2	541 回	150 名	280 回	10 回
3	239 回	326 回	405 名	312 回
4	42 回	32 回	442 回	379 名

対象症例数 = 8586 名
 不変症例数 = 6721 名
 変化症例数 = 1865 名

改善変化回数 = 1144 回
 退行変化回数 = 1622 回

(8-3(A)txt)

図 8-3(A) 排尿 (排尿の介助) : 全体



(8-3(B)txt)

図 8-3(B) 排尿 (排尿の介助) : 性別

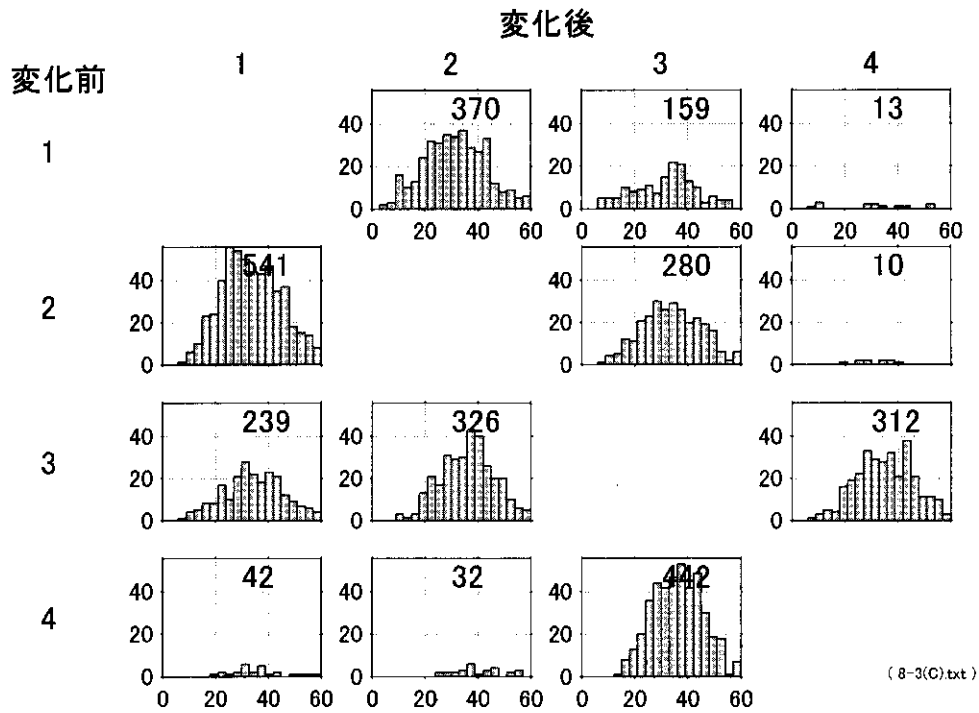


図 8 - 3(C) 排尿 (排尿の介助) : 年齢 (歳)

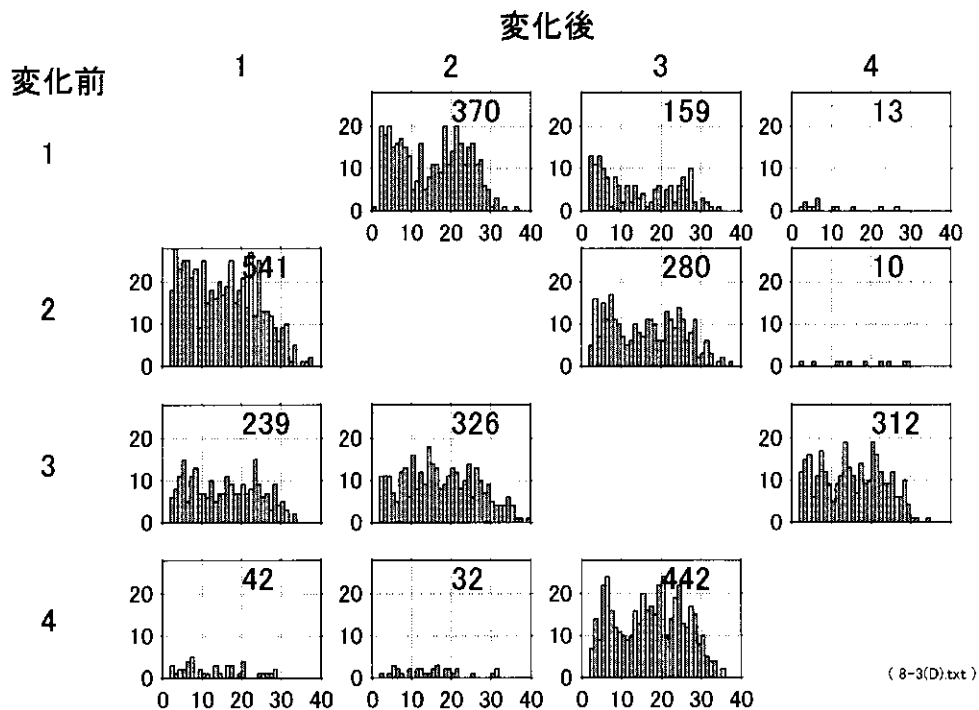


図 8 - 3(D) 排尿 (排尿の介助) : 変化発生までの入所期間 (年)

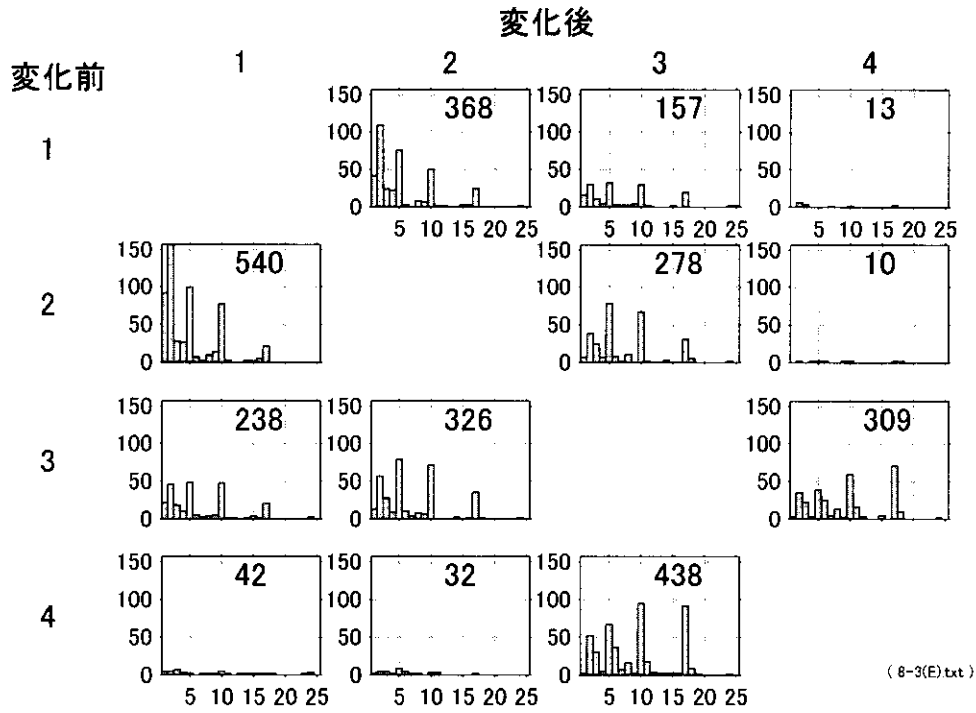


図 8 - 3(E) 排尿 (排尿の介助) : 大島の分類

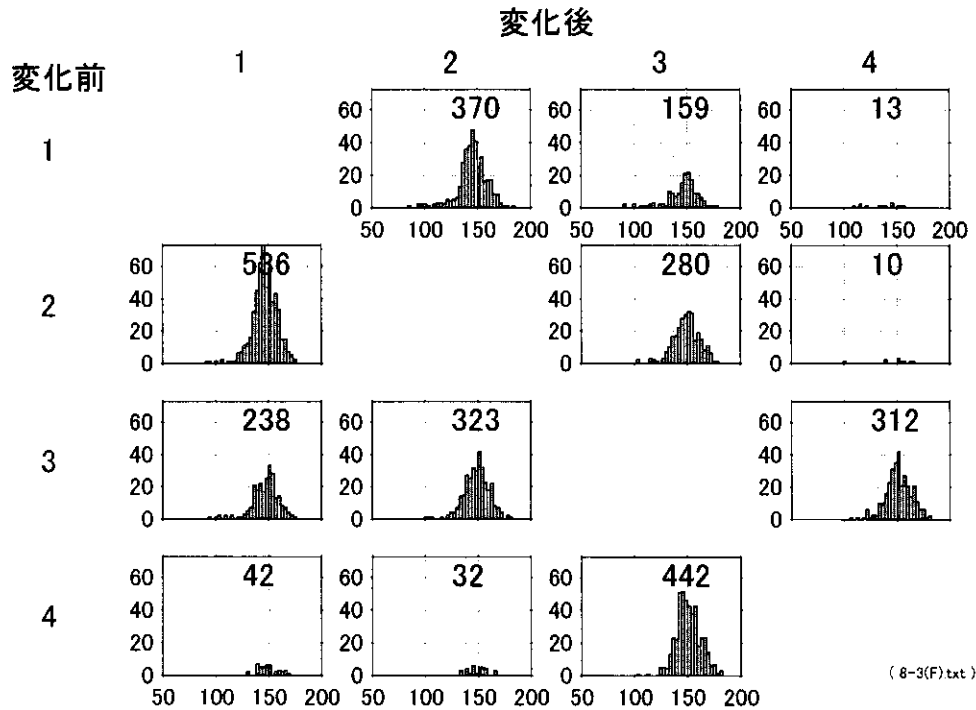


図 8 - 3(F) 排尿 (排尿の介助) : 身長 (cm)

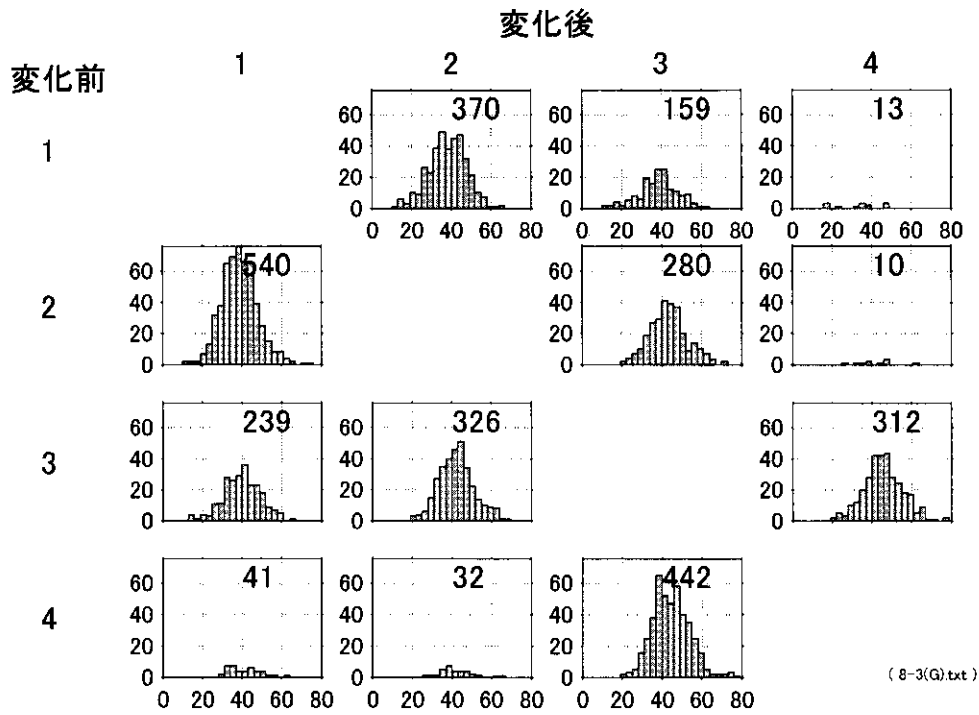


図 8 - 3(G) 排尿 (排尿の介助) : 体重 (kg)

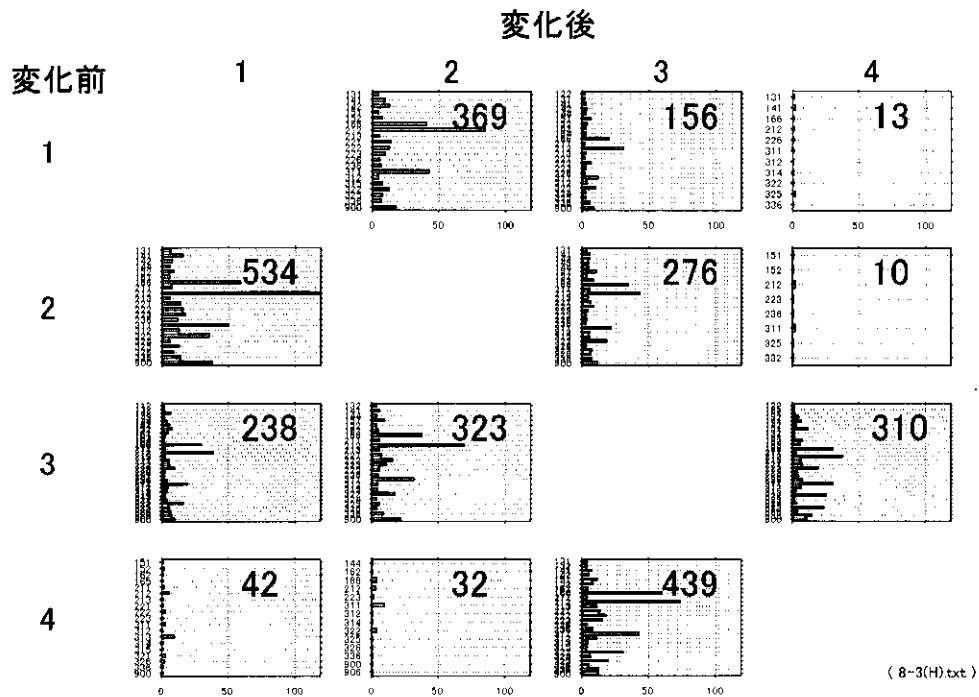


図 8 - 3(H) 排尿 (排尿の介助) : 主要病因

8.4. 排便（便意の有無）

■改訂版■

1	無
2	有

<図 8-4 (A)～(H)>

全体：対象症例数 4429 の中で不変群 4106 名を除いた，323 名（7.3%）に変化がみられた。改善は 174 回，退行は 204 回発生し，改善は退行に比べて約 15% 少なかった（改善/退行：-14.7%）。また，改善と退行の和（378 回）を変化を起こした症例数で除すると，変化が平均で 1.17 回発生したということになる。

年齢：改善のピークは 33～35 歳に，退行は 39～41 歳にピークがあった。改善傾向は，30 代半ばまでしっかり認められる一方，退行は 40 代から顕著になることが示された。これは，排尿における「尿意」の項とも一致している。

	変化後 1	2
変化前 1	1814 名	174 回
2	204 回	2292 名

対象症例数 = 4429 名
 不変症例数 = 4106 名
 変化症例数 = 323 名

改善変化回数 = 174 回
 退行変化回数 = 204 回

(8-4(A).txt)

図 8 - 4(A) 排便（便意の有無）：全体

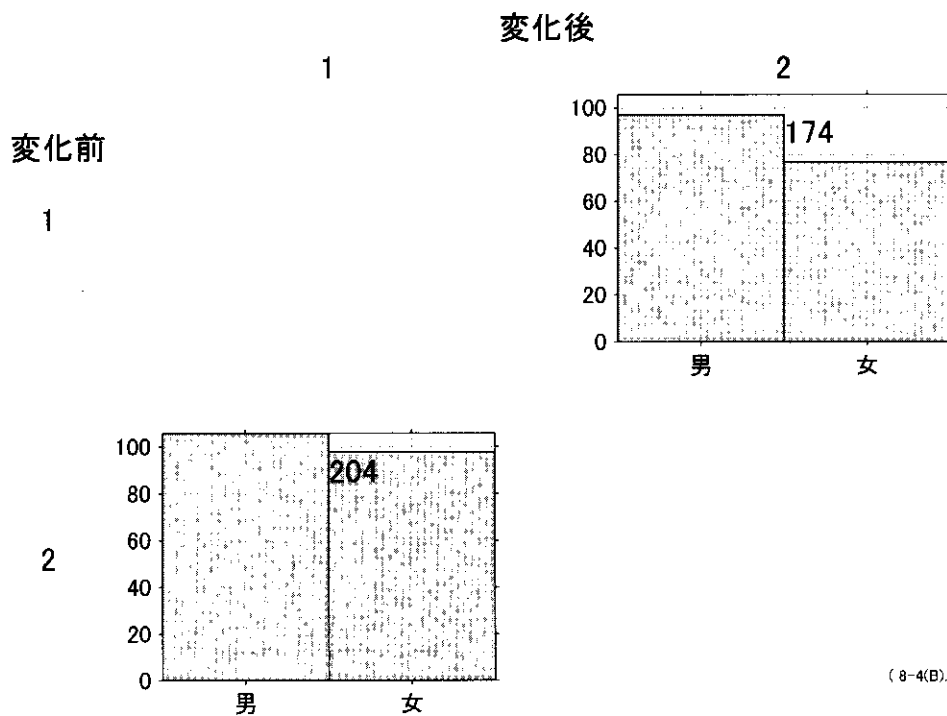


図 8 - 4(B) 排便（便意の有無）：性別

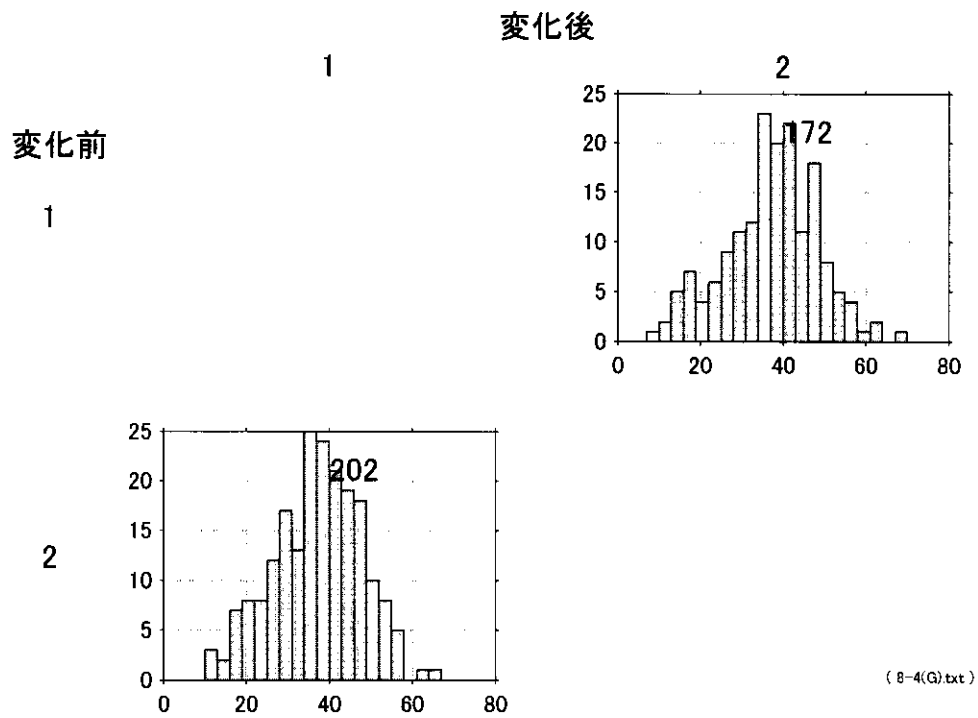


図 8 - 4(G) 排便 (便意の有無) : 体重 (kg)

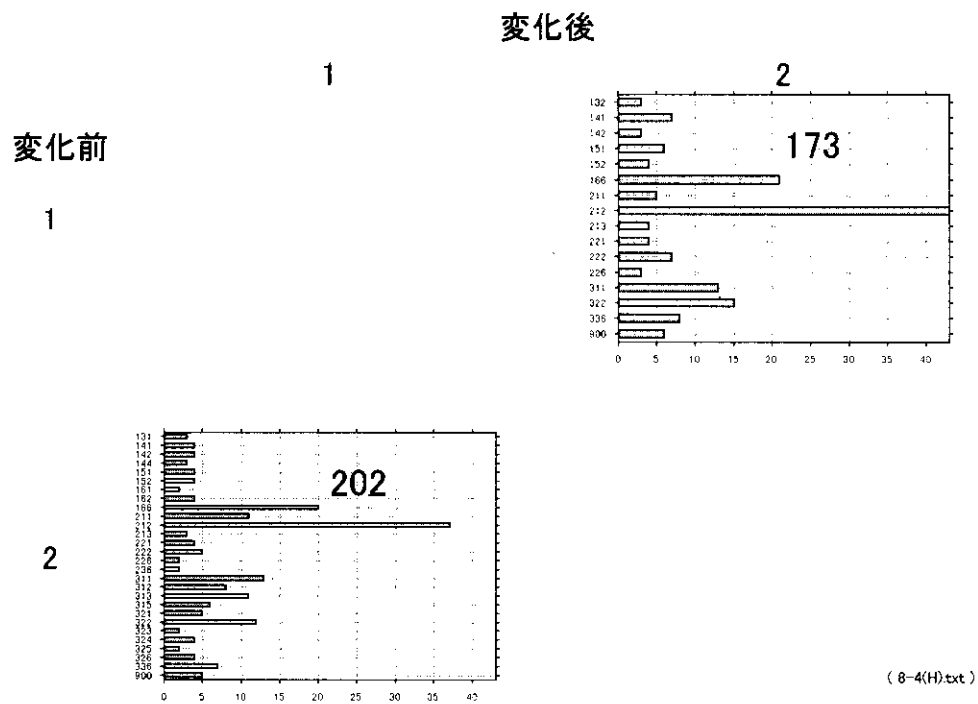


図 8 - 4(H) 排便 (便意の有無) : 主要病因

8.5. 排便（排便の知らせ）

■改訂版■

1	知らせない
2	事後に知らせることがある
3	事前に知らせることがある
4	いつも事後に知らせる
5	いつも事前に知らせる

<図 8-5 (A)～(H)>

全体：対象症例数 8581 の中で不変群 6533 名を除いた、2048 名（23.9%）に変化がみられた。改善は 1486 回、退行は 1712 回発生し、改善は退行に比べて少なかった（改善/退行：-13.2%）。また、改善と退行の和（3198 回）を変化を起こした症例数で除すると、変化が平均で 1.56 回発生したということになる。改善が多くみられた水準は、1 群→2 群（442 回、改善回数の 29.7%）、1 群→3 群（275 回、18.5%）、3 群→5 群（214 回、14.4%）であった。一方、退行に関しては、2 群→1 群（408 回、退行回数の 23.8%）、3 群→1 群（326 回、19.0%）、5 群→3 群（302 回、17.6%）の変化が多くみられた。

年齢：1 群→2 群のピークが 33～35 歳、2 群→3 群が 36～38 歳、3 群→5 群が 30～32 歳、1 群→5 群が 36～38 歳であった。退行は、2 群→1 群が 27～29 歳、3 群→1 群が 30～32 歳、5 群→3 群が 27～32 歳であった。改善群、退行群の年齢のピークが 30 代にある中で、退行群の年齢が改善群より若い傾向にあった。30 代前半で退行していくグループと 30 代後半で改善していくグループに分かれることが示唆された。

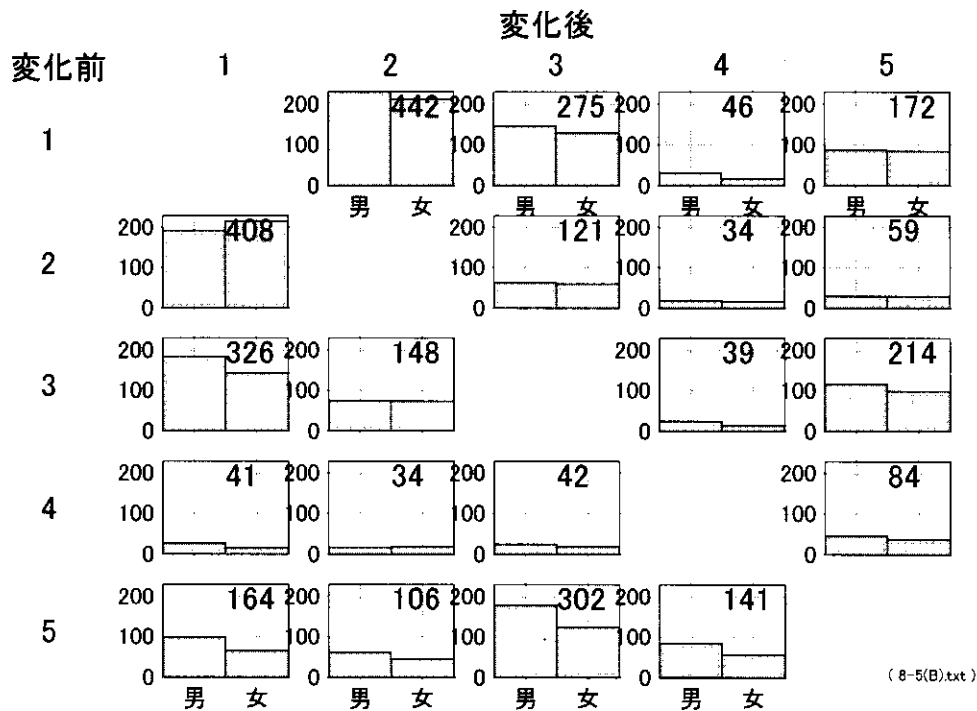
	変化後 1	2	3	4	5
変化前 1	5417 名	442 回	275 回	46 回	172 回
2	408 回	127 名	121 回	34 回	59 回
3	326 回	148 回	193 名	39 回	214 回
4	41 回	34 回	42 回	23 名	84 回
5	164 回	106 回	302 回	141 回	773 名

対象症例数 = 8581 名
 不変症例数 = 6533 名
 変化症例数 = 2048 名

改善変化回数 = 1486 回
 退行変化回数 = 1712 回

(8-5(A).txt)

図 8-5(A) 排便 (排便の知らせ) : 全体



(8-5(B).txt)

図 8-5(B) 排便 (排便の知らせ) : 性別